別添 2

平成25年度　1043-0019

情報流通連携基盤の社会資本情報における実証に係る請負

社会資本情報流通連携基盤

システム実装詳細仕様書

富士通株式会社

目次

[1． はじめに 1](#_Toc382936251)

[1.1． 背景と目的 1](#_Toc382936252)

[1.2． 適用範囲 2](#_Toc382936253)

[1.3． 実装方針 2](#_Toc382936254)

[1.4． 用語定義 2](#_Toc382936255)

[1.5． 参考文献 3](#_Toc382936256)

[2． 社会資本情報流通連携基盤システム 4](#_Toc382936257)

[2.1． 社会資本情報流通連携基盤システムの概要 4](#_Toc382936258)

[2.2． 社会資本情報流通連携基盤システムの詳細 5](#_Toc382936259)

[2.2.1． 社会資本情報流通連携基盤システムソフトウェア 5](#_Toc382936260)

[3． 社会資本情報標準API 6](#_Toc382936261)

[3.1． 社会資本情報標準API概要 6](#_Toc382936262)

[3.1.1． 社会資本情報標準API一覧 6](#_Toc382936263)

[3.1.2． 共通規定 6](#_Toc382936264)

[3.2． 社会資本情報標準API詳細 7](#_Toc382936265)

[3.2.1． SPARQL-Based Command 7](#_Toc382936266)

[3.2.2． SPARQL-Extended Command 8](#_Toc382936267)

[3.2.3． Contribution Data Management Command 11](#_Toc382936268)

[4． 社会資本情報等データ規格 15](#_Toc382936269)

[4.1． 社会資本情報等に関するデータ一覧 15](#_Toc382936270)

[4.1.1． 社会資本情報 15](#_Toc382936271)

[4.1.2． 工事実績情報 17](#_Toc382936272)

[4.1.3． 苦情・問い合わせ情報 17](#_Toc382936273)

[4.1.4． ソーシャルメディア情報 17](#_Toc382936274)

[4.2． 社会資本情報データ規格概要 18](#_Toc382936275)

[4.2.1． データモデル 18](#_Toc382936276)

[4.2.2． データ表現形式 18](#_Toc382936277)

[4.2.3． 共通ボキャブラリ 18](#_Toc382936278)

[4.2.4． データ識別子体系 18](#_Toc382936279)

[4.3． 社会資本情報データ規格詳細 19](#_Toc382936280)

[4.3.1． 社会資本情報のデータ規格 19](#_Toc382936281)

[4.3.2． 工事実績情報 36](#_Toc382936282)

[4.3.3． 苦情・問い合わせ情報のデータ規格 40](#_Toc382936283)

[4.3.4． ソーシャルメディア情報のデータ規格 41](#_Toc382936284)

[4.4． ucodeの割当について 42](#_Toc382936285)

[4.4.1． 本実証に割り当てられたucodeの帯域 42](#_Toc382936286)

[4.4.2． RDFグラフ毎のucode帯域割当 42](#_Toc382936287)

[5． インストールマニュアル 43](#_Toc382936288)

[5.1． ソフトウェアインストール手順 43](#_Toc382936289)

[5.1.1． Apache（FJ Apache ）のインストール 43](#_Toc382936290)

[5.1.2． Interstage Application Serverのインストール 43](#_Toc382936291)

[5.1.3． OpenLink Virtuoso 6.1.7のインストール 47](#_Toc382936292)

[6． プログラミングマニュアル 48](#_Toc382936293)

[6.1． SPARQL1.1解説 48](#_Toc382936294)

[6.1.1． SPARQLの種類 48](#_Toc382936295)

[6.1.2． SPARQLクエリの実行例 48](#_Toc382936296)

[6.2． Webアプリケーションプログラミング解説 50](#_Toc382936297)

[6.2.1． Webアプリケーションの構成要素 50](#_Toc382936298)

[6.2.2． Webアプリケーションのプログラミング 50](#_Toc382936299)

[6.3． Java（Android）プログラミング解説 53](#_Toc382936300)

[6.3.1． Java（Android）アプリケーションの構成要素 53](#_Toc382936301)

[6.3.2． Java（Android）アプリケーションのプログラミング 53](#_Toc382936302)

[6.4． Objective-C（iOS）プログラミング解説 59](#_Toc382936303)

[6.4.1． Objective-C（iOS）アプリケーションの構成要素 59](#_Toc382936304)

[6.4.2． Objective-C（iOS）アプリケーションのプログラミング 59](#_Toc382936305)

参考資料　RDF形式で保存されたデータのサンプル 61

# はじめに

## 背景と目的

これまでICT利活用については、行政、医療、教育等の個別分野ごとの情報化を推進することに力点が置かれてきた。一方、東日本大震災においては、企業等が行政の保有する避難所の情報、地図データ等を利用して震災関連情報を広く周知しようとしても、データがPDF、JPEG等で提供されており、機械判読が困難で人出で再入力する必要がある等、二次利用が困難なケースや、行政機関ごとにフォーマットが異なり、情報の収集や整理に多くの時間が必要とされるケースが発生する等、情報の横の連携ができていないことが顕在化した。

こうした状況等を背景として、総務省では業界をまたいでオープンデータを流通・連携させる情報流通連携基盤の構築に必要な、データやそれに対する操作手法に関する共通規格情報流通連携基盤 外部仕様書（以下「外部仕様書」という。）を策定した。



図 1‑1　情報流通連携基盤（イメージ）

本書は、平成25年度に総務省が実施する「情報流通連携基盤の社会資本情報における実証に係る請負」（以下「本実証」という。）において、情報流通連携基盤 外部仕様書に基づき富士通株式会社が構築した社会資本情報流通連携基盤に係る詳細仕様について説明したものである。

## 適用範囲

本書の規定範囲は、以下の3 つである。

1. 社会資本情報流通連携基盤システム（以下「基盤システム」という。）

外部仕様書が規定する標準データ規格及び標準APIのうち、本実証に必要となる機能を備えた基盤システム。

基盤システムに関する詳細は、「2．社会資本情報流通連携基盤システム」に記載する。

1. 社会資本情報標準API（以下「API」という。）

社会資本情報等のオープンデータを流通させるために、データベースに格納されたオープンデータに対する検索・取得・更新等の操作を共通化するための標準技術規格。

本規格に関する詳細は、「3．社会資本情報標準API」に記載する。

1. 社会資本情報データ規格（以下「データ規格」という。）

社会資本情報等をオープンデータ化する際の各データ項目に関する識別子体系やボキャブラリ等のデータ規格。

本規格に関する詳細は、「4．社会資本情報等データ規格」に記載する。

## 実装方針

実装方針は外部仕様書に基づき実装することとする。

## 用語定義

本仕様書が使用する用語の定義を以下に示す。

表 1.4.1 用語の定義

| **用語** | **意味** |
| --- | --- |
| オープンデータ | 多くの人々や企業、団体が利用できるように一般に公開されているデータ。 |
| 情報流通連携基盤 | 総務省が定義する、主体、分野・領域にとじない情報流通・利活用のための共通基盤。 |
| 情報流通連携基盤API | 情報流通連携基盤を実現するシステムにアクセスして、情報流通連携基盤システム上のデータベースに格納されたオープンデータに対する検索・取得・更新等の操作を共通化するための標準技術規格。 |
| 実装API | 当実証の中で、実装した情報流通連携基盤API。 |
| RDF | Resource Description Framework。Web上にある「リソース」に関する情報を記述するための統一された枠組み。 |

## 参考文献

参考文献を以下に示す。

表 1.5.1 参考文献

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **No** | **仕様書名** | **版数** |
| 1 | 情報流通連携基盤 外部仕様書 | 1.1 |

# 社会資本情報流通連携基盤システム

## 社会資本情報流通連携基盤システムの概要

社会資本情報流通連携基盤システムのシステム構成を以下に示す。



図 2‑1　システム構成

構成ソフトウェア一覧を以下に示す。

表 2.1.1 構成ソフトウェア一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **No.** | **役割** | **ソフトウェア名** |
| 1 | Webサーバ | Apache[[1]](#footnote-1) |
| 2 | APサーバ  （アプリケーションサーバ） | Interstage Application Server[[2]](#footnote-2) |
| 3 | RDFストア | OpenLink Virtuoso 6.1.7[[3]](#footnote-3) |

## 社会資本情報流通連携基盤システムの詳細

### 社会資本情報流通連携基盤システムソフトウェア

#### Webサーバ

基盤システムにおけるWebサーバの役割はクライアントからのHTTP（HTTPS）に基づくリクエストへのレスポンス処理を行う。APIへのリクエストである場合はAPIにリクエストを転送する。

なお、Webサーバの機能はInterstage Application Server同梱のApache（FJ Apache）を利用して実装する。

#### APサーバ

基盤システムにおけるAPサーバの役割はAPIの処理である。APサーバはAPIのアプリケーションに対してJava EEの[[4]](#footnote-4)実行環境を提供する。

また、JDBCコネクション管理機能によりAPIに対してRDFストアとのコネクションを提供する。

なお、APサーバの機能はInterstage Application ServerのJavaEE実行環境を利用して実装する。

#### RDFストア

基盤システムにおけるRDFストアの役割はRDFデータの格納とSPARQL1.1に基づくRDFデータの操作機能を提供する。

なお、RDFストアの機能はOpen Link Virtuoso 6.1.7を利用して実装する。

#### オペレーションシステム

基盤システムの実行環境オペレーションシステムとしてはRed Hat Enterprise Linux[[5]](#footnote-5)を利用する。

#### サーバ仮想化について

基盤システムは仮想サーバとして実行する。仮想化ソフトウェアとしてはvSphere ESXi[[6]](#footnote-6)を利用する。

# 社会資本情報標準API

## 社会資本情報標準API概要

### 社会資本情報標準API一覧

社会資本情報標準API は、以下の3つの機能からなる。

1. SPARQL-Based Command

SPARQL1.1プロトコルに準拠したコマンド。オープンデータの検索機能を提供する。

1. SPARQL-Extended Command

RDFストアのソフトウェアが実装する独自ファンクションを用いた拡張クエリ（SELECT）による、オープンデータの検索機能を提供する。

1. Contribution Data Management Command

通学路点検アプリからのリクエストを処理し、画像データ格納ディレクトリとRDFストアにそれぞれデータを格納する。

### 共通規定

社会資本情報標準APIにおける共通規定を以下に示す。

1. 準拠するプロトコル

提供APIは、HTTP/1.1プロトコル上で実現する。

1. HTTPメソッドと機能の対応

提供APIのHTTPメソッドと機能の対応を、表 3.1.1に示す。

表 3.1.1 HTTPメソッドと機能の対応

|  |  |
| --- | --- |
| **HTTPメソッド** | **機能** |
| GET | SPARQL-Based Command  SPARQL-Extended Command |
| POST | SPARQL-Based Command  SPARQL-Extended Command  Contribution Data Management Command |

1. HTTPステータスコード

提供APIが返すステータスコードとその意味は、以下の通りである。

表 3.1.2 提供APIのステータスコード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ステータス**  **コード** | **意味** | |
| 200 | OK | 正常終了。 |
| 400 | Bad Request | クエリが正しくない。 |
| 500 | Internal Error | 情報流通連携基盤システム内でエラーが発生した。 |

1. その他

HTTP、URL等の規約上必要なエンコーディングは、適宜行うこと。

## 社会資本情報標準API詳細

### SPARQL-Based Command

SPARQL1.1プロトコルに準拠した、オープンデータの検索機能を提供する。

本コマンドの一覧を表 3.2.1 SPARQL-Based Commandの一覧に示す。以下、各コマンドの詳細を述べる。

表 3.2.1 SPARQL-Based Commandの一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **URLパス** | **HTTPメソッド** | **意味** |
| /api/v1/sparql | GET | SPARQL1.1準拠のクエリを発行する。 |
| /api/v1/sparql | POST | SPARQL1.1準拠のクエリを発行する。 |

#### SPARQL1.1準拠のクエリ発行（GETメソッド）

参考文書「情報流通連携基盤 外部仕様書」の「3.1.1 SPARQL1.1準拠クエリ発行（GETメソッド）」の規定に準拠する。

#### SPARQL1.1準拠のクエリ発行（POSTメソッド）

参考文書「情報流通連携基盤 外部仕様書」の「3.1.2 SPARQL1.1準拠クエリ発行（POSTメソッド）」の規定に準拠する。

### SPARQL-Extended Command

Virtuoso拡張機能を用いたクエリ（SELECT）による、オープンデータの検索機能を提供する。

本コマンドの一覧を表 3.2.2 SPARQL-Extended Commandの一覧に示す。以下、各コマンドの詳細を述べる。

表 3.2.2 SPARQL-Extended Commandの一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **URLパス** | **HTTPメソッド** | **意味** |
| /api/v1/select | GET | SPARQL拡張クエリ（SELECT）を実行する。 |
| /api/v1/select | POST | SPARQL拡張クエリ（SELECT）を実行する。 |

#### SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（GETメソッド）

HTTP GETメソッドを利用して、SPARQL拡張クエリ（SELECT）を実行する。

独自のファンクションを使用したSELECTクエリの実行を可能とする。

メソッド

GET

URLパス

/api/v1/select?query=<query>

制約条件

なし。誰でもリクエストできる。

リクエストパラメータ

リクエストパラメータは、GETメソッドのURL部に格納する（表 3.2.3）。

表 3.2.3 SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（GETメソッド）のリクエストパラメータ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パラメータ名** | **型** | **説明** |
| query | xsd:string | 検索対象パラメータ名。 |

リクエストヘッダ

レスポンスの形式を、リクエストヘッダのAcceptで設定する。指定できるパラメータは表 3.2.4の通りである。

表 3.2.4 SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（GETメソッド）のAcceptヘッダ値

|  |  |
| --- | --- |
| **パラメータ値** | **説明** |
| application/sparql-results+xml | SPARQL Query Results XML Formatに基づくレスポンス。 |
| application/sparql-results+json | SPARQL Query Results JSON Formatに基づくレスポンス。 |

ステータスコード

ステータスコードは表 3.2.5の通りである。

表 3.2.5 SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（GETメソッド）のステータスコード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ステータス**  **コード** | **意味** | |
| 200 | OK | 正常終了。 |
| 400 | Bad Request | クエリが正しくない。 |
| 500 | Internal Error | 情報流通連携基盤システム内でエラーが発生した。 |

レスポンス

レスポンスは以下の通りである。

* SPARQL Query Results JSON Formatに基づくレスポンス
* SPARQL Query Results XML Formatに基づくレスポンス

#### SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（POSTメソッド）

HTTP POSTメソッドを利用して、SPARQL拡張クエリ（SELECT）を実行する。

独自のファンクションを使用したSELECTクエリの実行を可能とする。

メソッド

POST

URLパス

/api/v1/select

制約条件

なし。誰でもリクエストできる。

リクエストパラメータ

リクエストパラメータ（表 3.2.6）は、メッセージボディ部に格納する。

表 3.2.6 SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（POSTメソッド）のリクエストパラメータ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パラメータ名** | **型** | **説明** |
| query | xsd:string | クエリ文をURLエンコーディングしたもの。 |

リクエストヘッダ

レスポンスの形式を、リクエストヘッダのAcceptで設定する。その方法は、「3.2.1.1．SPARQL1.1準拠のクエリ発行（GETメソッド）」と同じである。

ステータスコード

ステータスコードは表 3.2.7の通りである。

表 3.2.7 SPARQL拡張クエリ（SELECT）実行（POSTメソッド）のステータスコード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ステータス**  **コード** | **意味** | |
| 200 | OK | 正常終了。 |
| 400 | Bad Request | クエリが正しくない。 |
| 500 | Internal Error | 情報流通連携基盤システム内でエラーが発生した。 |

レスポンス

レスポンスは以下の通りである。

* SPARQL Query Results JSON Formatに基づくレスポンス
* SPARQL Query Results XML Formatに基づくレスポンス

### Contribution Data Management Command

投稿アプリケーションから投稿されるデータをオープンデータとして扱うためのコマンドである。

本コマンドの一覧を表 3.2.8 Contribution Data Management Commandの一覧に示す。以下、各コマンドの詳細を述べる。

表 3.2.8 Contribution Data Management Commandの一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **URLパス** | **HTTPメソッド** | **意味** |
| /api/v1/contribute | POST | 投稿データを登録する。 |

機能概要

投稿データをRDF形式で登録する。

投稿データのucodeは、情報流通連携基盤システム内で自動生成される。

投稿データに添付された画像ファイル（複数不可）は、情報流通連携基盤システム内に保存し、RDFデータ内にパスが格納される。

メソッド

POST

URLパス

/api/v1/contribute

制約条件

なし。誰でもリクエストできる。

※ただし、APサーバのBASIC認証によって通学路点検アプリの認証を行う。

リクエストパラメータ

リクエストパラメータは、POSTメソッドのボディ部に、マルチパート形式で格納する。投稿（気づき）データのパラメータは

表 3.2.9の通りである。投稿（施設確認）データのパラメータは表 3.2.10の通りである。

表 3.2.9 投稿（気づき）データの登録のリクエストパラメータ

| **パラメータ名** | **型** | **説明** |
| --- | --- | --- |
| datatype | xsd:string | データ種別。必須。  以下の値を設定する。  upnotice:気づきデータ |
| abstract | xsd:string | タイトル。必須。 |
| description | xsd:string | 本文。必須。 |
| depiction | xsd:hexBinary | 添付画像。任意指定。  属性で以下の項目を指定する。  filename:ファイル名  Content-Typeでコンテンツタイプを指定する。 |
| date | xsd:datetime | 投稿日時。必須。  「CCYY-MM-DDThh:mm:ss.sss±hh:mm」形式。 |
| lat | xsd:double | 緯度。必須。 |
| long | xsd:double | 経度。必須。 |

表 3.2.10 投稿（施設確認）データの登録のリクエストパラメータ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パラメータ名** | **型** | **説明** |
| datatype | xsd:string | データ種別。必須。  以下の値を設定する。  upfacility:施設確認データ |
| facility | xsd:string | 施設。必須。 |
| assessment | xsd:string | 評価。必須。 |
| description | xsd:string | 備考。任意指定。 |
| depiction | xsd:hexBinary | 添付画像。任意指定。  属性で以下の項目を指定する。  filename:ファイル名  Content-Typeでコンテンツタイプを指定する。 |
| date | xsd:datetime | 投稿日時。必須。  「CCYY-MM-DDThh:mm:ss.sss±hh:mm」形式。 |
| lat | xsd:double | 緯度。必須。 |
| long | xsd:double | 経度。必須。 |

ステータスコード

ステータスコードは表 3.2.11の通りである。

表 3.2.11 投稿データの登録のステータスコード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ステータス**  **コード** | **意味** | |
| 201 | Created | 正常終了。 |
| 400 | Bad Request | パラメータが正しくない。 |
| 500 | Internal Error | 情報流通連携基盤システム内でエラーが発生した。 |

レスポンス

成功時、レスポンスボディは空である。

生成データ

生成されるオープンデータのBase URIは、表 3.2.12の通りである。

投稿（気づき）データに対して生成されるオープンデータの規格は、

表 3.2.13の通りである。投稿（施設確認）データに対して生成されるオープンデータの規格は、表 3.2.14の通りである。対応するパラメータの値をRDF形式で保存する。データ規格の詳細は、別資料に記載する。

表 3.2.12 投稿データの登録の生成データBase URI

|  |  |
| --- | --- |
| **データ種別** | **Base URI** |
| 投稿（気づき）データ | http://opendata.elg-front.jp/tenken/upnotice# |
| 投稿（施設確認）データ | http://opendata.elg-front.jp/tenken/upfacility# |

表 3.2.13 投稿（気づき）データの登録のデータ規格

| **項目名** | **プロパティ** | **パラメータ名** | **備考** |
| --- | --- | --- | --- |
| タイトル | http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#abstract | abstract |  |
| 本文 | http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#description | description |  |
| 添付 | http://xmlns.com/foaf/0.1/depiction | depiction | 添付画像ファイルを、「ucode.<添付画像ファイルの拡張子>」形式のファイル名で、基盤システム上に保存し、そのWebサービス参照用のパスを格納する。 |
| 投稿日時 | http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#date | date |  |
| 緯度 | http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#lat | lat |  |
| 経度 | http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#long | long |  |

表 3.2.14 投稿（施設確認）データの登録のデータ規格

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **項目名** | **プロパティ** | **パラメータ名** | **備考** |
| 施設 | http://opendata.elg-front.jp/tenken/upfacility#facility | facility |  |
| 評価 | http://opendata.elg-front.jp/tenken/upfacility#assessment | assessment |  |
| 備考 | http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#description | description |  |
| 添付 | http://xmlns.com/foaf/0.1/depiction | depiction | 添付画像ファイルを、「ucode.<添付画像ファイルの拡張子>」形式のファイル名で、基盤システム上に保存し、そのWebサービス参照用のパスを格納する。 |
| 投稿日時 | http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#date | date |  |
| 緯度 | http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#lat | lat |  |
| 経度 | http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#long | long |  |

# 社会資本情報等データ規格

## 社会資本情報等に関するデータ一覧

社会資本情報等をオープンデータ化する際のデータ規格を定義するデータを以下に示す。

表 4.1.1 データ規格を定義する社会資本情報等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **No.** | **社会資本情報等** | **検討・定義するデータ規格** |
| 1 | 社会資本情報 | 道路、橋梁、トンネル等の社会資本情報を識別する識別子体系及びそれらの基本情報（名称、管理者、所在地、緯度経度等）、諸元情報（完成年、形状、幅員、荷重制限、図面等）、補修情報等に関するデータ規格 |
| 2 | 工事実績情報 | 公共工事実績を識別する識別子体系及びそれらの工事件名、工期、請負会社、発注機関、工事分野、工種・工法・型式、施工場所等に関するデータ規格 |
| 3 | 苦情・問い合わせ情報 | 社会資本情報等に係る住民からの苦情・問い合わせを識別する識別子体系及びそれらの分類、受付日、回答内容、回答日等に関するデータ規格 |
| 4 | ソーシャルメディア情報 | 住民が発信する社会資本情報等に係るSNSデータを識別する識別子体系及びそれらの時刻、投稿内容、投稿写真等に関するデータ規格 |

### 社会資本情報

社会資本情報データ規格を定義する対象データを以下に示す。

**表 4.1.2 社会資本情報に関するデータ一覧**

| **No.** | **データ**  **タイトル** | **データ**  **作成組織** | **概要** | **件数** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1-1 | 道路諸元データ | 佐賀県 | 佐賀県が管理する国道、県道に関する路線名、舗装年次、舗装種別、車線数、MCI値等のデータ。  ※各路線を一定区間で分割したデータを提供。 | 2万件 |
| 1-2 | 橋梁諸元データ | 佐賀県 | 佐賀県が管理する橋梁に関する橋梁名、路線名、橋梁種別、橋長、径間数、下部工基数、上部工・下部工の形式等のデータ。 | 2,500件 |
| 1-3 | 橋梁補修データ | 佐賀県 | 佐賀県が管理する橋梁に関する補修履歴（施工年次、工事番号、工種、数量等）のデータ。  ※データ整備（電子化）されている橋梁のデータのみ提供。 | 1,000件 |
| 1-4 | トンネル諸元データ | 佐賀県 | 佐賀県が管理するトンネルに関するトンネル名、路線名、トンネル延長、トンネル工法等のデータ。 | 14件 |
| 1-5 | トンネル補修データ | 佐賀県 | 佐賀県が管理するトンネルに関する補修履歴（施工年次、工法等）のデータ。 | 86件 |
| 1-6 | 道路台帳附図データ | 佐賀県 | 佐賀県の佐賀土木事務所が管理する国道の道路台帳附図データ。 | 500件 |
| 1-7 | 入札情報データ | 佐賀県 | 佐賀県県土づくり本部の土木事務所発注の入札予定データ。 | 230件 |
| 1-8 | 小学校データ | 福岡市 | 福岡市立の小学校に関する学校名称、住所等のデータ。 | 153件 |
| 1-9 | 警察署データ | 福岡市 | 福岡市内の警察署・交番に関する名称、住所等のデータ。 | 68件 |
| 1-10 | 通学路点検結果データ | 福岡市 | 2012年度に行われた福岡市立小学校の通学路総点検結果のデータ。 | 260件 |

### 工事実績情報

工事実績情報に関するデータ一覧を以下に示す。

**表 4.1.3 工事実績情報に関するデータ一覧**

| **No.** | **データ**  **タイトル** | **データ**  **作成組織** | **概要** | **件数** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 2-1 | 工事実績データ | 一般財団法人　日本建設情報総合センター | 公共工事に関する工事件名、工期、発注機関、請負業者、工種・工法等のデータ。 | 30万件 |

### 苦情・問い合わせ情報

苦情・問い合わせ情報に関するデータ一覧を以下に示す。

**表 4.1.4 苦情・問い合わせ情報**

| **No.** | **データ**  **タイトル** | **データ**  **作成組織** | **概要** | **件数** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 3-1 | 苦情・問い合わせデータ | 佐賀県 | 過去に佐賀県に寄せられた道路に関する相談内容のデータ。 | 1,000件 |

### ソーシャルメディア情報

ソーシャルメディア情報に関するデータ一覧を以下に示す。

**表 4.1.5 ソーシャルメディア情報に関するデータ一覧**

| **No.** | **データ**  **タイトル** | **データ**  **作成組織** | **概要** | **件数** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 4-1 | ツイートデータ | - | Twitter上のつぶやきの中で福岡市の通学路に関するツイート。 | 1,000件 |

## 社会資本情報データ規格概要

### データモデル

社会資本情報等をオープンデータ化する際のデータモデルは外部仕様書に基づきRDFデータモデルに準拠する。

### データ表現形式

社会資本情報等をオープンデータ化する際のデータ表現形式は外部仕様書に基づきRDF/XML[[7]](#footnote-7)を利用する。なお、各データをRDF/XMLによって表現したサンプルは「参考資料　RDF形式で保存されたデータのサンプル」を参照されたい。

### 共通ボキャブラリ

社会資本情報のデータセットはデータセット毎にグラフに分割し管理している。各グラフに対して名前空間、属性（プロパティ）を定義しており、グラフ名にはこの名前空間を利用している。

以降の各データの属性一覧で接頭辞を省略している場合は上記グラフ名を名前空間としている。

例）道路諸元データのcivilEngineeringOfficeは次の通りとなる。

http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#civilEngineeringOffice

なお共通で用いる名前空間の接頭辞は以下の通り。

rdfs: http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#

rdf: http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#

geo: http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#

xsd: http://www.w3.org/2001/XMLSchema#

ev: http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#

ug: http://uidcenter.org/vocab/ucr/ug#

ugsrv: http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#

### データ識別子体系

社会資本情報等をオープンデータ化する際の識別子体系は外部仕様書に基づきucodeを利用する。

ucodeは現実世界さまざまな「モノ」や「場所」などを識別するための128ビット固定長の識別子体系である。詳細は外部仕様書を参照されたい。

## 社会資本情報データ規格詳細

### 社会資本情報のデータ規格

#### 道路諸元データ

##### データ概要

佐賀県が管理する国道、県道に関する路線名、舗装年次、舗装種別、車線数、MCI値等のデータ。データは各路線を一定区間で分割して管理している。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/road)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.1に示す。

表 4.3.1 道路諸元データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | civilEngineeringOffice | 当該舗装区間を管理する土木事務所の名称 | rdfs:Literal |
| 2 | routeType | 道路種別名称 | rdfs:Literal  一般国道、主要地方道、一般県道 |
| 3 | ug:title | 路線名称 | rdfs:Literal  例）国道２０４号、県道２５号 |
| 4 | kpstart | 基準番号（自） | xsd:integer  各路線を一定区間で分割した際に割り振った番号。 |
| 5 | kpmstart | 基準区間長（自） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。  各路線を一定区間で分割した区間内での延長。 |
| 6 | kpend | 基準番号（至） | xsd:integer  各路線を一定区間で分割した際に割り振った番号。 |
| 7 | kpmend | 基準区間長（至） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。  各路線を一定区間で分割した区間内での延長。 |
| 8 | roadLane | 調査車線数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 9 | ug:place | 市町村名 | rdfs:Literal |
| 10 | roadSurface | 路面種別名称 | rdfs:Literal |
| 11 | roadLaneUp | 車線数（上） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 12 | roadLaneDown | 車線数（下） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 13 | pavingYear | 舗設年度 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 14 | surveyYear | 調査年度 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 15 | constructionYear1 | 施工年度1 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 16 | method1 | 施工工法1 | rdfs:Literal |
| 17 | constructionYear2 | 施工年度2 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 18 | method2 | 施工工法2 | rdfs:Literal |
| 19 | constructionYear3 | 施工年度3 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 20 | method3 | 施工工法3 | rdfs:Literal |
| 21 | constructionYear4 | 施工年度4 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 22 | method4 | 施工工法4 | rdfs:Literal |
| 23 | constructionYear5 | 施工年度5 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 24 | method5 | 施工工法5 | rdfs:Literal |
| 25 | crack | ［基準値］ひび割れ率 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 26 | ruttingMax | ［基準値］わだち掘れ最大 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 27 | ruttingAvg | ［基準値］わだち掘れ平均 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 28 | iri | ［基準値］平坦性 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 29 | mci | ［基準値］MCI値 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 30 | mciFormulaNo | ［基準値］MCI式番号 | xsd:integer |
| 31 | traffic | 24h総交通量(H22年度調査) | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 32 | largeTraffic | 24h大型車交通量(H22年度調査) | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 33 | ratioDay | 昼夜率 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 34 | ratioGrowth5Year | 5年後伸び率 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 35 | pavementType | 舗装種別 | rdfs:Literal |
| 36 | useYear | 供用年数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 37 | structure | 区間内に存在する構造物の名称 | rdfs:Literal  例）○○交差点、○○橋 |
| 38 | h25mci | 調査年度におけるMCI値を元に佐賀県が試算した平成25年度における当該舗装区間のMCI値。 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 39 | h26mci | 調査年度におけるMCI値を元に佐賀県が試算した平成26年度における当該舗装区間のMCI値。 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 40 | h27mci | 調査年度におけるMCI値を元に佐賀県が試算した平成27年度における当該舗装区間のMCI値。 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 41 | lineStringLongLat | 座標情報 | 一連の点を結んだ線をあらわすデータ。  例）  129.98266212829424,33.428525738301317,129.98225810633357,33.429360587066171 |

#### 橋梁諸元データ（基本）

##### データ概要

佐賀県が管理する橋梁に関する橋梁名、路線名、橋梁種別、橋長、径間数、下部工基数等のデータ。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.2に示す。

表 4.3.2 橋梁諸元データ（基本）の属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | civilEngineeringOffice | 土木事務所名称 | rdfs:Literal |
| 2 | routeTitle | 路線名称 | rdfs:Literal |
| 3 | ug:title | 橋梁名称 | rdfs:Literal |
| 4 | titleKana | カナ名称 | rdfs:Literal |
| 5 | ug:place | 所在地 | rdfs:Literal |
| 6 | bridgeType | 橋梁種別 | rdfs:Literal  例）河川橋、跨道橋 |
| 7 | uc:length | 橋長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 8 | spanNum | 径間数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 9 | substructureNum | 下部工基数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 10 | maxSpanLength | 最大支間長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 11 | uc:width | 幅員 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 12 | designLiveLoad | 設計活荷重 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）を持つ。 |
| 13 | againstSaltDamageCategory | 塩害対策区分 | rdfs:Literal |
| 14 | constructionYear | 架設年次 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 15 | did | DID区分 | rdfs:Literal  例）該当、非該当 |
| 16 | busRoute | バス路線 | rdfs:Literal  例）該当、非該当 |
| 17 | detour | 迂回路 | rdfs:Literal  例）有、無 |
| 18 | ev:description | 備考 | rdfs:Literal |
| 19 | trafficSurveyYear | 交通量調査年度 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 20 | traffic | 交通量 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 21 | largeTraffic | 大型車交通量 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 22 | ev:date | 台帳更新日付 | xsd:date |
| 23 | geo:lat | 橋梁の経度 | xsd:double |
| 24 | geo:long | 橋梁の緯度 |

#### 橋梁諸元データ（上部工）

##### データ概要

佐賀県が管理する橋梁に関する橋梁名、路線名、橋梁種別、橋長、径間数、下部工基数等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.3に示す。

表 4.3.3 橋梁諸元データ（上部工）の属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | spanNo | 径間番号 | xsd:integer |
| 2 | spanLength | 径間長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 3 | useMaterial | 使用材料 | rdfs:Literal |
| 4 | mainGirderStructure | 主桁構造 | rdfs:Literal |
| 5 | expansionJoint | 伸縮装置 | rdfs:Literal |
| 6 | structureType | 構造形式 | rdfs:Literal |
| 7 | intersection | 交差物 | rdfs:Literal |
| 8 | floorSlabMaterial | 床版材料 | rdfs:Literal |
| 9 | bearing | 支承 | rdfs:Literal |
| 10 | rustproofing | 防錆処理 | rdfs:Literal |
| 11 | bridgeUri | 橋梁諸元データ（基本）への参照 | rdfs:Resource |

#### 橋梁諸元データ（下部工）

##### データ概要

佐賀県が管理する橋梁の下部工に関する躯体形式、基礎形式等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.4に示す。

表 4.3.4 橋梁諸元データ（下部工）の属性一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| 1 | substructureNo | 下部工番号 | xsd:integer |
| 2 | bridgeSkeletonStructure | 躯体形式 | rdfs:Literal |
| 3 | bridgeFoundationStructure | 基礎形式 | rdfs:Literal |
| 4 | bridgeUri | 橋梁諸元データ（基本）への参照 | rdfs:Resource |

#### 橋梁補修データ

##### データ概要

佐賀県が管理する橋梁に関する補修履歴（施工年次、工事番号、工種、数量等）のデータ。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge)である。

なお、データ整備（電子化）されている橋梁のデータのみ提供。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.5に示す。

表 4.3.5 橋梁補修データの属性一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| 1 | ev:startDate | 補修年月日開始 | xsd:date |
| 2 | ev:endDate | 補修年月日終了 | xsd:date |
| 3 | constructionNo | 工事番号 | rdfs:Literal |
| 4 | repairWay | 工種 | rdfs:Literal |
| 5 | ev:description | 項目 | rdfs:Literal |
| 6 | repairAmount | 数量 | rdfs:Literal |
| 7 | repairSpecifications | 仕様 | rdfs:Literal |
| 8 | ev:comment | 備考 | rdfs:Literal |
| 9 | bridgeUri | 橋梁諸元データ（基本）への参照 | rdfs:Resource |

#### トンネル諸元データ（基本）

##### データ概要

佐賀県が管理するトンネルに関するトンネル名、路線名、トンネル延長、トンネル工法等のデータ。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.6に示す。

表 4.3.6 トンネル諸元データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | ug:title | 名称 | rdfs:Literal |
| 2 | titleKana | カナ名称 | rdfs:Literal |
| 3 | routeTitle | 路線名 | rdfs:Literal |
| 4 | civilEngineeringOffice | 土木事務所名称 | rdfs:Literal |
| 5 | routeType | 道路種別 | rdfs:Literal |
| 6 | ug:address | 所在地（自） | rdfs:Literal |
| 7 | constructionYear | 完成年度（西暦） | xsd:date |
| 8 | uobj:level | トンネル等級 | rdfs:Literal |
| 9 | ev:date | 台帳更新年月日 | xsd:date |
| 10 | roadSurface | 舗装（種別） | rdfs:Literal |
| 11 | pavingThickness | 舗装（厚さ） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 12 | uc:length | トンネル延長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 13 | earthCovering | 土かぶり | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 14 | innerSectionArea | 内空断面積 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 15 | wallSurfaceType | 壁面種類 | rdfs:Literal |
| 16 | ceilingType | 天井種類 | rdfs:Literal |
| 17 | portalType | 坑門-起点-形式 | rdfs:Literal |
| 18 | portalLength | 坑門-起点-延長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 19 | thicknessOfTunnelLiningType | 竣工巻厚-種別 | rdfs:Literal |
| 20 | thicknessOfTunnelLiningArch | 竣工巻厚-アーチ | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 21 | thicknessOfTunnelLiningGutter | 竣工巻厚-側溝 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 22 | thicknessOfTunnelLiningInvert | 竣工巻厚-インバート | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 23 | radiusArch | 半径-アーチ | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 24 | radiusGutter | 半径-側溝 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 25 | radiusInvert | 半径-インバート | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 26 | roadsiteWidth | 道路幅 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 27 | roadwayWidth | 車道幅 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 28 | leftSidewalkWidth | 左側歩道幅 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 29 | rightSidewalkWidth | 右側歩道幅 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 30 | clearanceLimitHeight | 建築限界高 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 31 | centerHeight | 中央高 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 32 | validHeight | 有効高 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 33 | longitudinalGradientUp | 縦断勾配（上り） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 34 | longitudinalGradientDown | 縦断勾配（下り） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 35 | detour | 迂回路の有無 | rdfs:Literal |
| 36 | emergencyRoute | 緊急輸送道路 | rdfs:Literal |
| 37 | trafficForm | 交通形態 | rdfs:Literal |
| 38 | charge | 一般有料区分 | rdfs:Literal  例）有料、無料 |
| 39 | traffic | 交通量(H22年度調査) | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 40 | portaLlightingType | 入口照明（種別） | rdfs:Literal |
| 41 | portaLlighting | 入口照明（灯数） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 42 | basicLightingType | 基本照明（種別） | rdfs:Literal |
| 43 | basicLighting | 基本照明（灯数） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 44 | ventilationType | 換気種別 | rdfs:Literal |
| 45 | drainingEquipmentType | 排水設備の種別 | rdfs:Literal |
| 46 | tunneinglMethod | トンネル工法 | rdfs:Literal |
| 47 | diggingType | 掘削方式 | rdfs:Literal |
| 48 | diggingMethod | 掘削工法 | rdfs:Literal |
| 49 | geo:lat | トンネルの経度 | xsd:double |
| 50 | geo:long | トンネルの緯度 |

#### トンネル補修データ

##### データ概要

佐賀県が管理するトンネルに関する補修履歴（施工年次、工法等）のデータ。グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.7に示す。

表 4.3.7 トンネル補修データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | ev:date | 補修年月 | rdfs:Literal |
| 2 | ev:target | 対象 | rdfs:Literal |
| 3 | ev:description | 作業内容 | rdfs:Literal |
| 4 | tunnelUri | トンネル諸元データへの参照 | rdfs:Resource |

#### 道路台帳附図データ

##### データ概要

http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.8に示す。

表 4.3.8 道路台帳附図データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | routeType | 道路種別 | rdfs:Literal |
| 2 | routeNo | 路線番号 | rdfs:Literal |
| 3 | civilEngineeringOffice | 土木事務所名 | rdfs:Literal |
| 4 | drawingNo | 図面番号 | rdfs:Literal |
| 5 | drawingName | ファイル名 | rdfs:Literal |
| 6 | totalExtendedLength | 総延長 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 7 | maxRoadwayWidth | 車道幅員（最大） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 8 | minRoadwayWidth | 車道幅員（最小） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 9 | maxRoadsiteWidth | 道路敷幅員（最大） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 10 | minRoadsiteWidth | 道路敷幅員（最小） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 11 | totalRoadArea | 総道路面積 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |

#### 入札情報データ

##### データ概要

佐賀県県土づくり本部の土木事務所発注の入札予定データ。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.9に示す。なお説明については佐賀県入札情報公開サービス画面の項目名を記載。

表 4.3.9 入札情報データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | constructionYear | 年度 | xsd:integer |
| 2 | constructionName | 工事名 | rdfs:Literal |
| 3 | contractManagementNo | 契約管理番号 | rdfs:Literal |
| 4 | bitSystem | 入札方式 | rdfs:Literal |
| 5 | industoryOfConstruction | 工種 | rdfs:Literal |
| 6 | constructionSite | 工事場所 | rdfs:Literal |
| 7 | constructionOutline | 工事概要 | rdfs:Literal |
| 8 | invitationForBidDate | 公開日 | xsd:date |
| 9 | applicationForBiddingStartDate | 参加受付開始 | xsd:datetime |
| 10 | applicationForBiddingEndDate | 参加受付期限 | xsd:datetime |
| 11 | biddingEndDate | 入札締切日時 | xsd:datetime |
| 12 | bidOpeningDate | 開札日 | xsd:date |
| 13 | estimatedPrice | 予定価格(税抜) | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 14 | rank | 等級等 | rdfs:Literal |
| 15 | withinPrefectureClassification | 県内、県外等区分 | rdfs:Literal |
| 16 | rdfs:comment | 備考 | rdfs:Literal |
| 17 | order | 課所名 | rdfs:Literal |
| 18 | invitationForBidURL1 | 入札公告等１ | rdfs:Literal |
| 19 | invitationForBidURL2 | 入札公告等２ | rdfs:Literal |
| 20 | questionAnswerURL | 質問・回答 | rdfs:Literal |
| 21 | specificationURL1 | 発注図書ファイル1 | rdfs:Literal |
| 22 | specificationURL2 | 発注図書ファイル2 | rdfs:Literal |
| 23 | geo:lat | 工事場所の緯度 | xsd:double |
| 24 | geo:long | 工事場所の経度 |

#### 土木事務所データ

##### データ概要

佐賀県の土木事務所に関する名称、住所等のデータ。

グラフ名（名前空間）は[http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice)である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.10に示す。

表 4.3.10 土木事務所データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | rdfs: label | 土木事務所の名称 | rdfs:Literal |
| 2 | ug:address | 土木事務所の住所 | rdfs:Literal |
| 3 | ugsrv:tel | 土木事務所の電話番号 | rdfs:Literal |
| 4 | ugsrv:email | 土木事務所のメールアドレス | rdfs:Literal |
| 5 | ugsrv:url | 土木事務所のHPのURL | rdfs:Literal |
| 6 | geo:lat | 土木事務所の緯度 | xsd:double |
| 7 | geo:long | 土木事務所の経度 |

#### 路線名データ

##### データ概要

佐賀県が管理する国道、県道に関する道路種別、路線名等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/route#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.11に示す。

表 4.3.11 路線名データの属性一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| 1 | 道路種別名称 | routeType | rdfs:Literal |
| 2 | 路線名称 | routeTitle | rdfs:Literal |

#### 小学校データ

##### データ概要

福岡市立の小学校に関する名称、住所等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/tenken/schools#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.12に示す。

表 4.3.12 小学校データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | rdfs: label | 小学校の名称 | rdfs:Literal |
| 2 | borough | 行政区名 | rdfs:Literal |
| 3 | ug:postalCode | 小学校の郵便番号 | rdfs:Literal |
| 4 | ug:address | 小学校の住所 | rdfs:Literal |
| 5 | ugsrv:tel | 小学校の電話番号 | rdfs:Literal |
| 6 | ugsrv:url | 小学校HPのURL | rdfs:Literal |
| 7 | geo:lat | 小学校の緯度 | xsd:double |
| 8 | geo:long | 小学校の経度 |

#### 警察署データ

##### データ概要

福岡市内の警察署・交番に関する名称、住所等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/tenken/police#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.13に示す。

表 4.3.13 警察署データの属性一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| 1 | rdfs: label | 警察署（交番）の名称 | rdfs:Literal |
| 2 | borough | 行政区名 | rdfs:Literal |
| 3 | ug:postalCode | 警察署（交番）の郵便番号 | rdfs:Literal |
| 4 | ug:address | 警察署（交番）の住所 | rdfs:Literal |
| 5 | ugsrv:tel | 警察署（交番）の電話番号 | rdfs:Literal |
| 6 | geo:lat | 警察署（交番）の緯度 | xsd:double |
| 7 | geo:long | 警察署（交番）の経度 |

#### 通学路点検結果データ

##### データ概要

2012年度に行われた福岡市立の小学校に関する通学路点検結果データ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.14に示す。

表 4.3.14 通学路点検結果データの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | school | 通学路点検対象の小学校への参照 | rdfs:Resource |
| 2 | routeTitle | 通学路点検対象の路線名 | rdfs:Literal |
| 3 | ug:address | 通学路点検箇所名・住所 | rdfs:Literal |
| 4 | status | 通学路の状況・危険の内容 | rdfs:Literal |
| 5 | measures | 対策内容 | rdfs:Literal |
| 6 | implementationStatus | 対策実施状況 | rdfs:Literal |
| 7 | implementingBody | 対策の事業主体 | rdfs:Literal |
| 8 | geo:lat | 通学路点検箇所の緯度 | xsd:double |
| 9 | geo:long | 通学路点検箇所の経度 |

### 工事実績情報

#### 工事実績データ（基本）

##### データ概要

全国の公共工事に関する工事件名、工期、施工場所、発注機関、請負業者等のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.15に示す。

表 4.3.15 工事実績データ（基本）の属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | pre | 自社が請け負った一体的先行契約工事の有無 | rdfs:Literal |
| 2 | ev:title | 工事件名 | rdfs:Literal |
| 3 | routeTitle | 路線・水系名等 | rdfs:Literal |
| 4 | amount | 請負金額 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 5 | startPeriod | 工期(開始年月日) | xsd:date |
| 6 | endPeriod | 工期(完了年月日) | xsd:date |
| 7 | period | 工期 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 8 | order | 発注機関名 | rdfs:Literal |
| 9 | civilEngineeringOffice | 担当事務所（部署）名 | rdfs:Literal |
| 10 | acceptForm | 受注形態 | rdfs:Literal |
| 11 | ve | ＶＥ対象工事か否か | rdfs:Literal |
| 12 | veType | 方式種別 | rdfs:Literal |
| 13 | veEtc | 方式種別備考 | rdfs:Literal |
| 14 | veAdopt | 提案の採否等 | rdfs:Literal |
| 15 | iso | ISO対象工事であるか否か | rdfs:Literal |
| 16 | contractor | 請負会社名 | rdfs:Literal |
| 17 | constructionPermissoinNo | 建設業許可番号 | rdfs:Literal |
| 18 | constructionField | 工事の分野 | rdfs:Literal |
| 19 | industoryOfConstruction | 工事の業種 | rdfs:Literal |
| 20 | typeOfConstruction | 工事種別 | rdfs:Literal |
| 21 | kind1 | 工種 1 | rdfs:Literal |
| 22 | kind2 | 工種 2 | rdfs:Literal |
| 23 | kind3 | 工種 3 | rdfs:Literal |
| 24 | kind4 | 工種4 | rdfs:Literal |
| 25 | kind5 | 工種5 | rdfs:Literal |
| 26 | method1 | 工法\_型式 1 | rdfs:Literal  工種１に対応する工法・型式 |
| 27 | method2 | 工法\_型式2 | rdfs:Literal  工種２に対応する工法・型式 |
| 28 | method3 | 工法\_型式 3 | rdfs:Literal  工種３に対応する工法・型式 |
| 29 | method4 | 工法\_型式4 | rdfs:Literal  工種４に対応する工法・型式 |
| 30 | method5 | 工法\_型式 5 | rdfs:Literal  工種５に対応する工法・型式 |
| 31 | startAddress | 起点の住所 | rdfs:Literal |
| 32 | endAddress | 終点の住所 | rdfs:Literal |
| 33 | did | 施工地域区分 | rdfs:Literal |
| 34 | nightWork | 夜間工事の有無 | rdfs:Literal |
| 35 | control | 交通規制の有無 | rdfs:Literal |
| 36 | roadCategory | 規制道路の種別 | rdfs:Literal |
| 37 | roadCategoryEtc | 規制道路の種別備考 | rdfs:Literal |
| 38 | traffic | 規制道路の交通量（台／日） | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 39 | regulationLane | 規制車線数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 40 | totalLane | 全車線数 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 41 | securingOfTraffic | 交通の確保手段 | rdfs:Literal |
| 42 | securingOfTrafficEtc | 交通の確保手段備考 | rdfs:Literal |
| 43 | neighboringConstruction | 近接施工の有無 | rdfs:Literal |
| 44 | neighboringStructure | 近接する構造物 | rdfs:Literal |
| 45 | neighboringStructureEtc | 近接する構造物備考 | rdfs:Literal |
| 46 | geo:lat | 起点の緯度 | xsd:double |
| 47 | geo:long | 起点の経度 |

#### 工事実績データ（業者）

##### データ概要

工事実績データ（基本）の各工事に関する構成請負業者のデータである。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.16に示す。

表 4.3.16 工事実績データ（業者）の属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | entryNo | 登録番号 | xsd:integer  連番 |
| 2 | manager | JV幹事会社 | rdfs:Literal  単独またはJVにおける幹事会社の場合は「K」の値が入る。 |
| 3 | rate | JV出資比率 | 空白ノード。子ノードとしてrdf:value（値）とuc:unit（単位）を持つ。 |
| 4 | contractor | 会社名 | rdfs:Literal |
| 5 | constructionPermissoinNo | 建設業許可番号 | rdfs:Literal |
| 6 | constructionUri | 工事実績データ（基本）への参照 | rdfs:Resource |

#### 工事実績データ（技術）

##### データ概要

工事実績データ（基本）の各工事に関する技術情報のデータである。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.17に示す。

表 4.3.17 工事実績データ（技術）の属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | methodSeq | 工種工法番号 | xsd:integer  工事実績データ（基本）の工種1～5の番号。 |
| 2 | methodName | 工法名称 | rdfs:Literal |
| 3 | itemSeq | 項目順 | xsd:integer  該当する工法におけるデータ項目の連番。 |
| 4 | itemName | 項目名称 | rdfs:Literal |
| 5 | rdfs:value | 値 | rdfs:Literal |
| 6 | uc:unit | 単位 | rdfs:Literal |
| 7 | itemDescription | 説明 | rdfs:Literal |
| 8 | constructionUri | 工事実績データ（基本）への参照 | rdfs:Resource |

### 苦情・問い合わせ情報のデータ規格

#### 苦情・問い合わせデータ

##### データ概要

過去に佐賀県に寄せられた道路に関する相談内容のデータ。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/marketing/report#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.18に示す。

表 4.3.18 苦情・問い合わせデータの属性一覧

| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | reportId | 受付番号 | xsd:integer |
| 2 | ev:startOwner | 相談受付機関 | rdfs:Literal |
| 3 | ev:startDate | 相談受付日時 | xsd:datetime |
| 4 | contactMeans | 相談受付手段 | rdfs:Literal |
| 5 | routeTitle | 相談対象の路線名 | rdfs:Literal |
| 6 | ug:address | 相談対象の住所 | rdfs:Literal |
| 7 | target | 相談対象場所の説明・目標物 | rdfs:Literal |
| 8 | ev:type | 相談区分 | rdfs:Literal |
| 9 | ev:target | 相談対象 | rdfs:Literal |
| 10 | ev:description | 相談内容 | rdfs:Literal |
| 11 | ev:endOwner | 対応担当組織 | rdfs:Literal |
| 12 | ev:comment | 回答・対応内容または対応不能理由などに関するメモ。 | rdfs:Literal |
| 13 | ev:endDate | 完了日 | xsd:date |
| 14 | geo:lat | 苦情・問い合わせ対象場所の緯度 | xsd:double |
| 15 | geo:long | 苦情・問い合わせ対象場所の経度 |

### ソーシャルメディア情報のデータ規格

#### ツイートデータ

##### データ概要

本実証で収集したTwitter上のつぶやきの中で福岡市の通学路に関するもの。

グラフ名（名前空間）はhttp://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#である。

##### 属性一覧

属性一覧を表 4.3.19に示す。

表 4.3.19 ツイートデータの属性一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **属性** | **説明** | **備考（Range／特記事項／例）** |
| 1 | ev:date | ツイート投稿日時 | xsd:datetime |
| 2 | ev:description | ツイート本文 | rdfs:Literal |
| 3 | foaf:depiction | 画像付ツイートの画像URL | rdfs:Literal |
| 4 | geo:lat | ツイート対象場所の緯度 | xsd:double |
| 5 | geo:long | ツイート対象場所の経度 |

## ucodeの割当について

### 本実証に割り当てられたucodeの帯域

社会資本情報等のデータ識別子として用いるucodeはT-Engine Forum[[8]](#footnote-8)殿より「00001C00000000000024/20」（約281兆個分）の帯域割当を受けている。社会資本情報等のデータ規格においてはこの帯域をRDFグラフ毎に分割する体系とした。

### RDFグラフ毎のucode帯域割当

社会資本情報等のRDFグラフ毎に割り当てたucode帯域を以下に示す。なお、帯域において先頭20桁の00001C00000000000024は省略して記載する。

表 4.4.1 ucode帯域割当

| **No.** | **RDFグラフ名** | **ucode帯域** |
| --- | --- | --- |
| 1-1 | [http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#](http://opendata.elg-front.jp/marketing/road) | 000002000000/27（約100万個） |
| 1-2 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge# | 000002200000/27（約100万個） |
| 1-3 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure# | 000002300000/27（約100万個） |
| 1-4 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure# | 000002400000/27（約100万個） |
| 1-5 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge# | 000002500000/27（約100万個） |
| 1-6 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel# | 000002600000/27（約100万個） |
| 1-7 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel# | 000002700000/27（約100万個） |
| 1-8 | http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing# | 000004000000/27（約100万個） |
| 1-9 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation# | 000002800000/27（約100万個） |
| 1-10 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice# | 000002900000/27（約100万個） |
| 1-11 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/route# | 000002B00000/27（約100万個） |
| 1-12 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/schools# | 000001000000/27（約100万個） |
| 1-13 | http://opendata.elg-front.jp/tenken/police# | 000001200000/27（約100万個） |
| 1-14 | http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken# | 000001100000/27（約100万個） |
| 2-1 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki# | 000003000000/27（約100万個） |
| 2-2 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya# | 000003100000/27（約100万個） |
| 2-3 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu# | 000003200000/27  ～000003B00000（約1,000万個） |
| 3-1 | http://opendata.elg-front.jp/marketing/report# | 000002A00000/27（約100万個） |
| 4-1 | http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets# | 000001400000/27（約100万個） |

# インストールマニュアル

## ソフトウェアインストール手順

### Apache（FJ Apache ）のインストール

Interstage Application Serverと同時にインストールされるため手順は「5.1.2．Interstage Application Serverのインストール」を参照されたい。

### Interstage Application Serverのインストール

1. APサーバのCD-ROMドライブにInterstage Application ServerのCD-ROMを挿入し、マウント。

|  |
| --- |
| # mount -r /dev/cdrom /media/cdrom <Enter> |

1. インストールシェルスクリプトを実行する。

インストールシェルスクリプトはCD-ROM上のディレクトリに移動し、実行。

|  |
| --- |
| # cd /media/cdrom <Enter>  # ./install.sh <Enter> |

1. システムパラメタのチューニングに関する確認メッセージが表示される。

|  |
| --- |
| Interstage Application Server を正常に動作させるためには、IPC資源を適切にチューニングする必要があります。 IPC資源のチューニングを行っていない場合は、必要資源の見積もり、およびチューニングを実施してからインストールを実行してください。  インストールを開始しますか？(省略: y) [y,n]:y<Enter> |

1. セキュリティモードを選択。

|  |
| --- |
| #セキュリティモードを選択してください。(1: 強化モード, 2: 互換モード) (省略: 1) [1,2,q]:  1 <Enter> |

1. グループ名を入力。

|  |
| --- |
| Interstage運用コマンドを操作するシステムのグループ名を入力してください。(省略: root) [?,q]:  root<Enter> |

1. インストールするサーバタイプを選択。

|  |
| --- |
| #インストールするサーバタイプを選択してください。(1: アプリケーションサーバ機能,2: Web Package機能)[1,2,q]:　1 <Enter> |

1. インストール方法を選択する。

|  |
| --- |
| #インストール方法を選択してください。(1: 標準, 2: カスタム) [1,2,q]:　2　<Enter> |

1. 機能選択またはパッケージ選択を選択。

|  |
| --- |
| #機能選択またはパッケージ選択を選択してください。(1: 機能選択, 2: パッケージ選択) [1,2,q]:　1　<Enter> |

1. インストールするパッケージを選択。

|  |
| --- |
| Functions:  1 Webサーバ(Interstage HTTP Server）  2 JDK/JRE 5.0  3 J2EE (Servlet Service/Interstage EJB Service)  4 Interstage管理コンソール  5 SOAPサービス(互換機能）  6 UDDIクライアント  7 シングル・サインオン  8 ディレクトリサービス  9 オプションライブラリ  10 フレームワーク  11 サンプル  パッケージを選択してください。複数選択する場合、","で区切って指定してください。[?,??,all,q]:  <Enter> |

1. Interstageサービスのポート番号を入力。

|  |
| --- |
| # Interstageサービスのポート番号を指定してください。(省略: 8002) [?,q]:<Enter> |

指定されてポート番号は既に設定されています。上書きしますか？　ｙ

1. ポート番号の上書きを確認するメッセージが表示、ｙを入力。

|  |
| --- |
| #指定されてポート番号は既に設定されています。上書きしますか？　ｙ<Enter> |

1. JDKまたはJREを選択。

|  |
| --- |
| # JDKまたはJREを選択してください。(1: JDK, 2: JRE) (省略: 1) [1,2,q]:<Enter> |

1. Interstage HTTP Serverの情報を入力。

|  |
| --- |
| # Webサーバ(Interstage HTTP Server)のホスト名を指定してください。(省略: host) [?,q]:,《interstage HTTP Serverのホスト名》<Enter>  # Webサーバ(Interstage HTTP Server)のポート番号を指定してください。(省略: 80) [?,q]:<Enter> |

1. Interstage管理コンソールの情報を入力。

|  |
| --- |
| # Interstage管理コンソールのホスト名を指定してください。(省略: host) [?,q]:《Interstage管理コンソールのホスト名》<Enter>  # Interstage管理コンソールのポート番号を指定してください。(省略: 12000) [?,q]: <Enter>  # Interstage管理コンソールでSSL暗号化通信を使用するか選択してください。(省略: y) [y,n,q]:　n　<Enter>  # Interstage管理コンソールでメッセージマニュアルを使用するか選択してください。(省略: y) [y,n,q]:　<Enter> |

1. インストール情報が表示される。内容を確認し、表示された情報でインストールを開始する場合はy <RETURN>を入力。
2. インストールおよび自動セットアップが終了したら以下のコマンドを実行し、APサーバのCD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

|  |
| --- |
| Automatic setup of "Interstage Application Server" has ended.  # eject cdrom <Enter> |

1. r rpmコマンドを使用し、インストールされたパッケージ全てが正常に終了していることを確認。

パッケージ名は、インストールシェルスクリプト作成時に出力したログを参照。

（例）FJSVxxxx

|  |
| --- |
| # rpm -qi FJSVxxxx<Enter> |

（注意）FJSVjdk5パッケージに関しては、rpmコマンドは「FJSVawjdk-j2sdk50np5」として確認。

同じようにFJSVotsは「FJSVots-SE」として確認。

1. 以下のコマンドを実行し、システムを再起動。

|  |
| --- |
| # /sbin/shutdown -r now <Enter> |

### OpenLink Virtuoso 6.1.7のインストール

1. インストールモジュールをダウンロードします。

http://sourceforge.jp/projects/sfnet\_virtuoso/より最新版をダウンロード可能。

（注意）以降は実証実験で利用した6.1.7の手順を記載。

1. インストールモジュールを/usr/srcにコピー。
2. ファイルを展開。

|  |
| --- |
| # cd / usr/src <Enter>  # tar xvfz virtuoso-opensource-6.1.7.tar.gz <Enter> |

1. 展開されたソースファイルのビルドとインストールを実行。

|  |
| --- |
| # cd /usr/src/virtuoso-opensource-6.1.7 # ./configure --prefix=/usr/local/ --with-readline # make install |

1. Virtuosoの起動

|  |
| --- |
| # cd /usr/local/var/lib/virtuoso/db  # virtuoso-t -df |

（注意）daemonとして起動する場合

# virtuoso-t

# プログラミングマニュアル

## SPARQL1.1解説

### SPARQLの種類

主なSPARQL言語の種類を以下に示す。

表 6.1.1 主なSPARQL言語

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **No.** | **種類** | **説明** |
| 1 | SPARQL 1.1クエリ言語 | 単純なグラフ・パターンマッチングから複雑なクエリに及ぶクエリを実行する。  SELECTクエリ、ASKクエリ、CONSTRUCTクエリが使用可能。 |
| 2 | SPARQL 1.1更新言語 | グラフ・ストア内のRDFグラフの更新、作成、削除を実行する。  INSERT DATAオペレーション、DELETE DATAオペレーションLOADオペレーションCLEARオペレーションが使用可能。 |

### SPARQLクエリの実行例

1. 任意の10件のトリプルを取得する。

|  |
| --- |
| SELECT \* WHERE {?s ?p ?o .} LIMIT 10 |

1. 指定したグラフ内の任意の10件のトリプルを取得する。

|  |
| --- |
| SELECT \* WHERE { GRAPH <グラフ名> {?s ?p ?o}} LIMIT 10 |

1. 指定したグラフ内の属性を取得する。

|  |
| --- |
| SELECT DISTINCT ?p WHERE { GRAPH <グラフ名> {?s ?p ?o}} |

1. 指定したグラフ内のトリプルについて条件を指定して取得する。

※Objectが文字列で指定した文字と一致するトリプルのみを取得する例

|  |
| --- |
| SELECT \* WHERE { GRAPH <グラフ名> {  ?s ?p ?o.  FILTER regex(?o,"文字列","i")  }} |

1. 2つのノードを跨いでデータを取得する。

elt2

elt1

value

|  |
| --- |
| SELECT ?x ?value WHERE { GRAPH <グラフ名> {  ?x elt1/elt2 ?value}  } |

## Webアプリケーションプログラミング解説

### Webアプリケーションの構成要素

WebアプリケーションプログラミングとしてはJavaScriptを利用した手法を解説する。アプリケーションの構成要素としてはjQuery[[9]](#footnote-9)を利用する。

Webブラウザ

HTMLページ

**jQuery**

**$.ajax()**

JavaScript

図 6‑1　Webアプリケーションプログラム構成

### Webアプリケーションのプログラミング

APIからデータを取得するWebアプリケーションのプログラム例について説明する。以下のサンプルアプリケーションでは、APIを起動しているホスト名に、“myhost”を指定している。サンプルアプリケーションを実行する環境に合わせて、ホスト名の値を修正し実行すること。

APIからデータを取得するプログラムの例

|  |
| --- |
| /\*\*  \* SPARQLクラス  \*/  function Sparql() {  /\*\* SPARQLエンドポイントのサーバ名 \*/  this.server = "myhost ";    this.prefix = [  "PREFIX rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>",  "PREFIX rdf: <http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#>",  "PREFIX xsd: <http://www.w3.org/2001/XMLSchema#>",  "PREFIX foaf: <http://xmlns.com/foaf/0.1/>",  "PREFIX foaf: <http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#>"  ""  ].join("\n");  }  /\*\*  \* SPARQLコマンドの実行  \*/  Sparql.prototype.query = function(query, success, error) {  var data;  var url;  var dataType;    data = {  query: this.prefix + query  };  url = "http://myhost /api/v1/sparql";  dataType = "json";    var res = $.ajax({  url : url,  type: "POST",  headers: {  "Accept": "application/sparql-results+json"  },  dataType: dataType,  data: data,  ifModified: true,  async: true,  timeout: 60000,  success: function(data, dataType) {  var head = data.head.vars;  var results = data.results.bindings;  if (results.length > 0) {  for (var i = 0; i < results.length; i++) {  for (var j = 0; j < head.length; j++) {  var key = head[j];  if (typeof results[i][key] == "undefined") {  if (j == 0) {  break;  }  results[i][key] = {type: "null", value: ""};  }  }  }  }  success(data, dataType);  },  error: function(XMLHttpRequest, textStatus, errorThrown) {  error(XMLHttpRequest, textStatus, errorThrown, query);  }  });  }  /\*\*  \* 社会資本情報検索  \*/  function searchCapital() {  var query = "";  query += "SELECT \* ";  query += "FROM <http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#> ";  query += "WHERE {";  query += "OPTIONAL {?x road:ucode ?ucode.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:icode ?icode.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:roadCode ?roadCode.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:civilEngineeringOffice ?civilEngineeringOffice.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:routeType ?routeType.} ";  query += "OPTIONAL {?x ugsrv:title ?title.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:kpstart ?kpstart.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:kpmstart/rdf:value ?kpmstart.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:kpend ?kpend.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:kpmend/rdf:value ?kpmend.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:pavingYear/rdf:value ?pavingYear.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:mci/rdf:value ?mci.} ";  query += "OPTIONAL {?x road:lineStringLongLat ?lineStringLongLat.} ";    query += "} ";  query += "ORDER BY ?title ?pavingYear ?x ";  $sparql.query(query, searchCapitalCallBack, searchErrorCallBack);  }  ※searchCapitalCallBack, searchErrorCallBackは別途定義が必要であるが本サンプルでは省略する。 |

## Java（Android）プログラミング解説

### Java（Android）アプリケーションの構成要素

JavaアプリケーションプログラミングとしてはAndroid OS用のアプリケーション開発手法を解説する。アプリケーションの構成要素としてはorg.apache.http.clientパッケージを利用する。

Android OS

Androidアプリ

Java

プログラム

**org.apache.**

**http.client**

図 6‑2　Java（Android）アプリケーションプログラム構成

### Java（Android）アプリケーションのプログラミング

APIからデータを取得するJava(Android)アプリケーションのプログラム例について説明する。

以下のサンプルアプリケーションでは、APIを起動しているホスト名に、“myhost”を指定している。サンプルアプリケーションを実行する環境に合わせて、ホスト名の値を修正し実行すること。

APIからデータを取得するプログラムの例

|  |
| --- |
| package com.fujitsu.jp.apps.android.contribution.net;  import java.io.ByteArrayOutputStream;  import java.io.StringReader;  import java.util.ArrayList;  import org.apache.http.HttpResponse;  import org.apache.http.HttpStatus;  import org.apache.http.HttpVersion;  import org.apache.http.NameValuePair;  import org.apache.http.auth.AuthScope;  import org.apache.http.client.methods.HttpGet;  import org.apache.http.client.params.ClientPNames;  import org.apache.http.client.utils.URLEncodedUtils;  import org.apache.http.conn.ClientConnectionManager;  import org.apache.http.conn.params.ConnManagerPNames;  import org.apache.http.conn.params.ConnPerRouteBean;  import org.apache.http.conn.scheme.PlainSocketFactory;  import org.apache.http.conn.scheme.Scheme;  import org.apache.http.conn.scheme.SchemeRegistry;  import org.apache.http.impl.client.DefaultHttpClient;  import org.apache.http.impl.conn.tsccm.ThreadSafeClientConnManager;  import org.apache.http.message.BasicNameValuePair;  import org.apache.http.params.BasicHttpParams;  import org.apache.http.params.HttpParams;  import org.apache.http.params.HttpProtocolParams;  import org.xmlpull.v1.XmlPullParser;  import com.fujitsu.jp.apps.android.contribution.R;  import android.app.ProgressDialog;  import android.content.Context;  import android.os.AsyncTask;  import android.util.Xml;  public class FacilityInfoController {  private Context mContext;  private ProgressDialog mDialog = null;  private static String URL = "http://myhost";  private static final String PATH = "/api/v1/select?";  private static final String INTERNALERROR = "500";  private ClientConnectionManager mConnectionManager;  private ClientCompletionListener mListener;  ArrayList<String> mFacilityList = new ArrayList<String>();  ArrayList<String> mAssessmentList = new ArrayList<String>();  static int type\_facility = 1;  static int type\_assessment = 2;  public FacilityInfoController(Context context) {  mContext = context;  }  public void setClientCompletionListener(ClientCompletionListener listener) {  mListener = listener;  }  public void setURL(String url) {  if (url != null) {  URL = url;  }  }  public void getFacilityInfo() {  mDialog = new ProgressDialog(mContext);  mDialog.setMessage(mContext.getResources().getText(R.string.message\_loading));  mDialog.setProgressStyle(ProgressDialog.STYLE\_SPINNER);  mDialog.setCancelable(false);  mDialog.show();  final String facilities =  "PREFIX fa:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facilityAssessment#>\n" +  "PREFIX f:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facility#>\n" +  "SELECT ?x ?facility WHERE {\n" +  "?s fa:facilityUri/f:facility ?facility.\n" +  "?s fa:assessment ?assessment.\n" +  "}";  final String assessments =  "PREFIX fa:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facilityAssessment#>\n" +  "PREFIX f:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facility#>\n" +  "SELECT ?x ?assessment WHERE {\n" +  "?s fa:facilityUri/f:facility ?facility.\n" +  "?s fa:assessment ?assessment.\n" +  "}";  new AsyncTask<String, String, String>() {  @Override  protected String doInBackground(String... params) {  ArrayList<NameValuePair> values = new ArrayList<NameValuePair>();  values.add(new BasicNameValuePair("query", facilities));  String query = URLEncodedUtils.format(values, "UTF-8");  HttpGet request = new HttpGet(URL + PATH + query);  request.setHeader("Accept","application/sparql-results+xml");  DefaultHttpClient client = getClient();  client.getParams().setParameter(ClientPNames.HANDLE\_REDIRECTS, true);  String result = INTERNALERROR;  try {  HttpResponse response = client.execute(request);  if(response.getStatusLine().getStatusCode() == HttpStatus.SC\_OK) {  String data = null;  ByteArrayOutputStream outputStream = new ByteArrayOutputStream();  response.getEntity().writeTo(outputStream);  data = outputStream.toString();  parse(data, type\_facility);  }  } catch (Exception e) {  }  client.getConnectionManager().shutdown();  return result;  }  @Override  protected void onPostExecute(String result) {  // nothing to do  }  }.execute();  new AsyncTask<String, String, String>() {  @Override  protected String doInBackground(String... params) {  ArrayList<NameValuePair> values = new ArrayList<NameValuePair>();  values.add(new BasicNameValuePair("query", assessments));  String query = URLEncodedUtils.format(values, "UTF-8");  HttpGet request = new HttpGet(URL + PATH + query);  request.setHeader("Accept","application/sparql-results+xml");  DefaultHttpClient client = getClient();  client.getParams().setParameter(ClientPNames.HANDLE\_REDIRECTS, true);  String result = INTERNALERROR;  try {  HttpResponse response = client.execute(request);  result = String.valueOf(response.getStatusLine().getStatusCode());  if(response.getStatusLine().getStatusCode() == HttpStatus.SC\_OK) {  String data = null;  ByteArrayOutputStream outputStream = new ByteArrayOutputStream();  response.getEntity().writeTo(outputStream);  data = outputStream.toString();  parse(data, type\_assessment);  }  } catch (Exception e) { }  client.getConnectionManager().shutdown();  return result;  }  @Override  protected void onPostExecute(String result) {  mDialog.dismiss();    if (mListener != null) {  if (Integer.parseInt(result) == 200) {  mListener.completed();  } else {  mListener.failed();  }    }  }  }.execute();  }  /\*\*  \* HttpClient を取得します。  \* @return HttpClient  \*/  private DefaultHttpClient getClient() {  SchemeRegistry schemeRegistry = new SchemeRegistry();  // http scheme  schemeRegistry.register(new Scheme("http", PlainSocketFactory.getSocketFactory(), 80));  // https scheme  schemeRegistry.register(new Scheme("https", new EasySSLSocketFactory(), 443));  HttpParams ps = new BasicHttpParams();  ps.setParameter(ConnManagerPNames.MAX\_TOTAL\_CONNECTIONS, 1);  ps.setParameter(ConnManagerPNames.MAX\_CONNECTIONS\_PER\_ROUTE, new ConnPerRouteBean(1));  ps.setParameter(HttpProtocolParams.USE\_EXPECT\_CONTINUE, false);  HttpProtocolParams.setVersion(ps, HttpVersion.HTTP\_1\_1);  HttpProtocolParams.setContentCharset(ps, "utf8");  if (mConnectionManager != null) {  mConnectionManager.shutdown();  }  mConnectionManager = new ThreadSafeClientConnManager(ps, schemeRegistry);  return new DefaultHttpClient(mConnectionManager, ps);  }  void parse(String str, int type) {  try{  XmlPullParser xmlPullParser = Xml.newPullParser();  xmlPullParser.setInput(new StringReader(str));  int eventType;  while ((eventType = xmlPullParser.next()) != XmlPullParser.END\_DOCUMENT) {  if (eventType == XmlPullParser.START\_TAG && "literal".equals(xmlPullParser.getName())) {  String item = xmlPullParser.nextText();  if (type == type\_facility) {  mFacilityList.add(item);  }  if (type == type\_assessment) {  mAssessmentList.add(item);  }  }  }  } catch (Exception e){  e.printStackTrace();  }  }  public ArrayList<String> getFacilityList() {  return mFacilityList;  }  public ArrayList<String> getAssessmentList() {  return mAssessmentList;  }  } |

## Objective-C（iOS）プログラミング解説

### Objective-C（iOS）アプリケーションの構成要素

Objective-CアプリケーションプログラミングとしてはiOS用のアプリケーション開発手法を解説する。アプリケーションの構成要素としてはNSURLConnectionを利用する。

iOS

iOS アプリ

Objective-C

プログラム

**NSURLConnection**

図 6‑3　Objective-C（iOS）アプリケーションプログラム構成

### Objective-C（iOS）アプリケーションのプログラミング

APIからデータを取得するObject-C（iOS）アプリケーションのプログラム例について説明する。

以下のサンプルアプリケーションでは、APIを起動しているホスト名に、“myhost”を指定している。サンプルアプリケーションを実行する環境に合わせて、ホスト名の値を修正し実行する。

APIからデータを取得するプログラムの例

GetClient.h

|  |
| --- |
| //  // GetClient.h  //  // 取得の通信処理を提供するクラスです。  //  #import "Client.h"  @interface GetClient : Client  - (void)facilities;  @end |

GetClient.m

|  |
| --- |
| //  // GetClient.m  //  #import "GetClient.h"  @implementation GetClient  // 施設・状況を取得します。  - (void)facilities  {  NSMutableString \*s = [NSMutableString string];    [s appendString:@"PREFIX fa:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facilityAssessment#>\n"];  [s appendString:@"PREFIX f:<http://opendata.elg-front.jp/tenken/facility#>\n"];  [s appendString:@"SELECT distinct \* WHERE {\n"];  [s appendString:@" ?s fa:facilityUri/f:facility ?facility.\n"];  [s appendString:@" ?s fa:assessment ?assessment.\n"];  [s appendString:@"}"];    [self retrieve:[Util urlEncode:s]];  }  // 指定されたクエリを実行します。  - (void)retrieve:(NSString \*)query  {  NSString \*s = [NSString stringWithFormat:@"%@%@", QUERY\_URL, query];  NSURL \*url = [NSURL URLWithString:s];  NSMutableURLRequest \*req = [NSMutableURLRequest requestWithURL:url];    [req setHTTPMethod:@"GET"];  [req addValue:@"application/sparql-results+json" forHTTPHeaderField:@"Accept"];  NSURLConnection \*connection  = [[NSURLConnection alloc] initWithRequest:req delegate:self];    if (connection)  {  // 通信開始  }  }  @end |

参考資料

RDF形式で保存されたデータのサンプル

1-1 道路諸元データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#Road"/>  <icode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">100-1</icode>  <roadCode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">293316712-6610</roadCode>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">唐津土木事務所</civilEngineeringOffice>  <routeType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">一般国道</routeType>  <ug:title>国道２０４号</ug:title>  <kpstart xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">7</kpstart>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax1">  <rdf:value>129</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <kpmstart xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax1"/>  <kpend xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">7</kpend>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax2">  <rdf:value>147</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <kpmend xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax2"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax3">  <rdf:value>1</rdf:value>  <uc:unit>車線</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <roadLane xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax3"/>  <ug:place>唐津市</ug:place>  <roadSurface xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">AS</roadSurface>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax4">  <rdf:value>0</rdf:value>  <uc:unit>車線</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <roadLaneUp xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax4"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax5">  <rdf:value>1</rdf:value>  <uc:unit>車線</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <roadLaneDown xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax5"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax6">  <rdf:value>2012</rdf:value>  <uc:unit>年度</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <surveyYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax6"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax7">  <rdf:value>7</rdf:value>  <uc:unit>年</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <passedYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax7"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax8">  <rdf:value>2005</rdf:value>  <uc:unit>年度</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <constructionYear1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax8"/>  <method1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">切削オーバーレイ</method1>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax9">  <rdf:value>0</rdf:value>  <uc:unit>%</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <crack xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax9"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax10">  <rdf:value>3.7</rdf:value>  <uc:unit>mm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <ruttingMax xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax10"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax11">  <rdf:value>2.2</rdf:value>  <uc:unit>mm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <ruttingAvg xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax11"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax12">  <rdf:value>5.29</rdf:value>  <uc:unit>mm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <iri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax12"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax13">  <rdf:value>8.8</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <mci xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax13"/>  <mciFormulaNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">1</mciFormulaNo>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax14">  <rdf:value>1</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <ratioDay xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax14"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax15">  <rdf:value>1</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <ratioGrowth5Year xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax15"/>  <pavementType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">高級舗装</pavementType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax16">  <rdf:value>2005</rdf:value>  <uc:unit>年度</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <newestConstructionYear1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax16"/>  <newestMethod xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">切削オーバーレイ</newestMethod>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax17">  <rdf:value>0</rdf:value>  <uc:unit>年</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <useYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax17"/>  <structure xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">浦川橋　　　　　　　　　　　　</structure>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax18">  <rdf:value>0</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <h25mci xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax18"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax19">  <rdf:value>0</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <h26mci xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax19"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890k4o3ax20">  <rdf:value>0</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002000000">  <h27mci xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#" rdf:nodeID="node1890k4o3ax20"/>  <lineStringLongLat xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">129.93902411205437,33.484524258271989,129.93910916026027,33.484602761511105,129.93915465705373,33.484643986090788</lineStringLongLat>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">00001C00000000000024000002000000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-2 橋梁諸元データ（基本）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#Bridge"/>  <icode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">200-1</icode>  <bridgeCode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">1051-2345-00</bridgeCode>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">佐賀土木事務所</civilEngineeringOffice>  <routeTitle xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">県道５１号</routeTitle>  <ug:title>井手橋</ug:title>  <ug:place>佐賀市久保泉町大字下和泉</ug:place>  <bridgeType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">河川橋</bridgeType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x1">  <rdf:value>2</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <uc:length rdf:nodeID="node18bl0s0p8x1"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x2">  <rdf:value>1</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <spanNum xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x2"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x3">  <rdf:value>2</rdf:value>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <substructureNum xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x3"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x4">  <rdf:value>15.7</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <uc:width rdf:nodeID="node18bl0s0p8x4"/>  <againstSaltDamageCategory xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">200mを越える</againstSaltDamageCategory>  <geo:lat>33.308</geo:lat>  <geo:long>130.3283056</geo:long>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x5">  <rdf:value>不明</rdf:value>  <uc:unit>年</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <constructionYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x5"/>  <did xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">該当</did>  <busRoute xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">該当</busRoute>  <detour xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">0</detour>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x6">  <rdf:value>2005</rdf:value>  <uc:unit>年度</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <trafficSurveyYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x6"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x7">  <rdf:value>12643</rdf:value>  <uc:unit>台/日</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <traffic xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x7"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18bl0s0p8x8">  <rdf:value>1010</rdf:value>  <uc:unit>台/日</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200000">  <largeTraffic xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#" rdf:nodeID="node18bl0s0p8x8"/>  <ev:date rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2009-08-29+09:00</ev:date>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bridge#">00001C00000000000024000002200000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-3 橋梁諸元データ（上部工）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002300000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#Superstructure"/>  <bridgeUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C0000000000002400000220006A"/>  <spanNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">1</spanNo>  <structureType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">RC床版橋</structureType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890kqa8kx1">  <rdf:value>河川</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002300000">  <spanLength xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#" rdf:nodeID="node1890kqa8kx1"/>  <intersection xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">河川</intersection>  <useMaterial xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">RC橋</useMaterial>  <floorSlabMaterial xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">コンクリート系</floorSlabMaterial>  <mainGirderStructure xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">単純桁</mainGirderStructure>  <bearing xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">不明</bearing>  <expansionJoint xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">不明</expansionJoint>  <rustproofing xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">その他</rustproofing>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/superstructure#">00001C00000000000024000002300000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-4 橋梁諸元データ（下部工）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002400000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#Substructure"/>  <bridgeUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002200189"/>  <substructureNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#">2</substructureNo>  <bridgeSkeletonStructure xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#">ラーメン橋台</bridgeSkeletonStructure>  <bridgeFoundationStructure xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#">不明</bridgeFoundationStructure>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/substructure#">00001C00000000000024000002400000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-5 橋梁補修データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002500000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#Hosyubridge"/>  <bridgeUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C000000000000240000022007F3"/>  <ev:startDate rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2010-01-20+09:00</ev:startDate>  <ev:endDate rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2010-03-25+09:00</ev:endDate>  <constructionNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#">第0111207-001号</constructionNo>  <repairWay xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#">橋梁塗替工</repairWay>  <ev:description>鋼上部工</ev:description>  <repairAmount xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#">A=2129m2</repairAmount>  <repairSpecifications xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#">A1～P2</repairSpecifications>  <ev:comment>上塗、中塗、下塗×23種ｹﾚﾝ</ev:comment>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyubridge#">00001C00000000000024000002500000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-6 トンネル諸元データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:uobj="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uobj#"  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#Tunnel"/>  <icode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">300-1</icode>  <ug:title>雄渕トンネル</ug:title>  <titleKana xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">オブチトンネル</titleKana>  <routeTitle xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">国道３２３号</routeTitle>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">佐賀土木事務所</civilEngineeringOffice>  <routeType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">一般国道</routeType>  <ug:address>佐賀県佐賀市富士町大字小副川</ug:address>  <geo:lat>33.36397222</geo:lat>  <geo:long>130.2192778</geo:long>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx1">  <rdf:value>1982</rdf:value>  <uc:unit>年度</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <constructionYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx1"/>  <uobj:level>D</uobj:level>  <ev:date rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2013-03-08+09:00</ev:date>  <roadSurface xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">コンクリート</roadSurface>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx2">  <rdf:value>25</rdf:value>  <uc:unit>cm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <pavingThickness xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx2"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx3">  <rdf:value>344</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <uc:length rdf:nodeID="node1890j5hvrx3"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx4">  <rdf:value>101</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <earthCovering xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx4"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx5">  <rdf:value>56.7</rdf:value>  <uc:unit>m2</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <innerSectionArea xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx5"/>  <wallSurfaceType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">パネル張り</wallSurfaceType>  <ceilingType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">覆工(内装なし)</ceilingType>  <portalType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">ウィング式</portalType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx6">  <rdf:value>0.7</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <portalLength xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx6"/>  <thicknessOfTunnelLiningType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">コンクリート</thicknessOfTunnelLiningType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx7">  <rdf:value>45、60</rdf:value>  <uc:unit>cm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <thicknessOfTunnelLiningArch xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx7"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx8">  <rdf:value>45、60</rdf:value>  <uc:unit>cm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <thicknessOfTunnelLiningGutter xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx8"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx9">  <rdf:value>50</rdf:value>  <uc:unit>cm</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <thicknessOfTunnelLiningInvert xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx9"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx10">  <rdf:value>4.9</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <radiusArch xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx10"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx11">  <rdf:value>7.9、8.9</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <radiusGutter xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx11"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx12">  <rdf:value>18.8、19.3</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <radiusInvert xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx12"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx13">  <rdf:value>9</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <roadsiteWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx13"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx14">  <rdf:value>6.5</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <roadwayWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx14"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx15">  <rdf:value>0.75</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <leftSidewalkWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx15"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx16">  <rdf:value>0.75</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <rightSidewalkWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx16"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx17">  <rdf:value>4.5</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <clearanceLimitHeight xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx17"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx18">  <rdf:value>6.2</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <centerHeight xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx18"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx19">  <rdf:value>6.2</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <validHeight xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx19"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx20">  <rdf:value>3</rdf:value>  <uc:unit>%</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <transverseGradientUp xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx20"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx21">  <rdf:value>\*</rdf:value>  <uc:unit>%</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <transverseGradientDown xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx21"/>  <detour xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">無</detour>  <emergencyRoute xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">第一次緊急輸送道路</emergencyRoute>  <trafficForm xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">上下線共用</trafficForm>  <charge xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">無料</charge>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx22">  <rdf:value>7358</rdf:value>  <uc:unit>台/日</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <traffic xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx22"/>  <portaLlightingType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">セラミックハライド灯</portaLlightingType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx23">  <rdf:value>67</rdf:value>  <uc:unit>灯</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <portaLlighting xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx23"/>  <basicLightingType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">LED</basicLightingType>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node1890j5hvrx24">  <rdf:value>26</rdf:value>  <uc:unit>灯</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000">  <basicLighting xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#" rdf:nodeID="node1890j5hvrx24"/>  <ventilationType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">自然換気</ventilationType>  <drainingEquipmentType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">U型側溝</drainingEquipmentType>  <tunneinglMethod xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">矢板工法</tunneinglMethod>  <diggingType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">発破掘削</diggingType>  <diggingMethod xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">上部半断面先進工法</diggingMethod>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/tunnel#">00001C00000000000024000002600000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-7 トンネル補修データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002700000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel#Hosyutunnel"/>  <tunnelUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002600000"/>  <ev:date>平成11年</ev:date>  <ev:target>本体工</ev:target>  <ev:description>目視点検、打音調査</ev:description>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/hosyutunnel#">00001C00000000000024000002700000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-8 道路台帳附図データ

http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/vocab/ucr/uc#"  xmlns:road="http://opendata.elg-front.jp/marketing/road#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#Drawing"/>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">00001C00000000000024000004000000</ucode>  <routeType xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">一般国道</routeType>  <routeNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">207</routeNo>  <civiEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">佐賀土木事務所</civiEngineeringOffice>  <drawingNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">1</drawingNo>  <drawingName xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">207-1-001-00-20041203-20070323-D-1.tif</drawingName>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax1">  <rdf:value>99.9</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <totalExtendedLength xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax1"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax2">  <rdf:value>6.5</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <maxRoadwayWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax2"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax3">  <rdf:value>6.5</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <minRoadwayWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax3"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax4">  <rdf:value>24.1</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <maxRoadsiteWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax4"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax5">  <rdf:value>15.5</rdf:value>  <uc:unit>m</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <minRoadsiteWidth xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax5"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node188tkrndax6">  <rdf:value>2165.38</rdf:value>  <uc:unit>㎡</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000004000000">  <totalRoadArea xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#" rdf:nodeID="node188tkrndax6"/>  <roadUcode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/drawing/drawing#">00001C00000000000024000002000476</roadUcode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-9 入札情報データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002800000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#BitInformation"/>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">00001C00000000000024000002800000</ucode>  <constructionYear xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">2013</constructionYear>  <constructionName xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">【(H25.12.3)積算資料の追加】道整交金 第0130265-005号　切木唐津線　道路整備交付金工事（信号機移設） </constructionName>  <contractManagementNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">30550020121048</contractManagementNo>  <bitSystem xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">条件付一般競争入札</bitSystem>  <industoryOfConstruction xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">電気工事</industoryOfConstruction>  <constructionSite xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">唐津市佐志浜町</constructionSite>  <constructionOutline xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">車両用灯器設置　N＝7基　歩行者用灯器設置 N＝6基　照明灯設置　N＝3基</constructionOutline>  <invitationForBidDate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2013-10-25+09:00</invitationForBidDate>  <applicationForBiddingStartDate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#dateTime">2013-10-28T09:00:00.000+09:00</applicationForBiddingStartDate>  <applicationForBiddingEndDate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#dateTime">2013-11-11T16:00:00.000+09:00</applicationForBiddingEndDate>  <biddingEndDate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#dateTime">2013-12-12T12:00:00.000+09:00</biddingEndDate>  <bidOpeningDate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2013-12-16+09:00</bidOpeningDate>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18b17049hx1">  <rdf:value>\*\*\*\*\*\*\*\*\*</rdf:value>  <unit xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">円</unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002800000">  <estimatedPrice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#" rdf:nodeID="node18b17049hx1"/>  <rank xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">Ａ級</rank>  <withinPrefectureClassification xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">佐賀県内に本店、支店又は営業所を有する。 </withinPrefectureClassification>  <order xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">県土づくり本部　唐津土木事務所</order>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">唐津土木事務所</civilEngineeringOffice>  <invitationForBidURL1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">/data/00001C00000000000024000002800000/切木唐津線005号（一般）.zip</invitationForBidURL1>  <invitationForBidURL2 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">/data/00001C00000000000024000002800000/積算資料1（切木唐津線005号）.zip</invitationForBidURL2>  <specificationURL1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">/data/00001C00000000000024000002800000/切木唐津線005号（業者）.zip</specificationURL1>  <specificationURL2 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/bitInformation#">/data/00001C00000000000024000002800000/積算資料2（切木唐津線005号）.zip</specificationURL2>  <geo:lat>33.475482</geo:lat>  <geo:long>129.937449</geo:long>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-10 土木事務所データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ugsrv="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ug#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000005000001">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice#CivilEngineeringOffice"/>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/civilengineeringoffice#">00001C00000000000024000005000001</ucode>  <rdfs:label>佐賀土木事務所</rdfs:label>  <ug:address>佐賀市八戸2-2-67</ug:address>  <geo:lat>33.247544</geo:lat>  <geo:long>130.274645</geo:long>  <ugsrv:tel>0952-24-4345</ugsrv:tel>  <ugsrv:email>sagadoboku@pref.saga.lg.jp</ugsrv:email> <ugsrv:url>http://www.pref.saga.lg.jp/web/soshiki-ichiran/kendozukuri/\_1699.html</ugsrv:url>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-11 路線名データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/route#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:route="http://opendata.elg-front.jp/marketing/route#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002B00000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/route#Route"/>  <route:ucode>00001C00000000000024000002B00000</route:ucode>  <route:routeType>一般国道</route:routeType>  <route:routeTitle>国道２０４号</route:routeTitle>  </rdf:Description> |

1-12 小学校データ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/schools#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ugsrv="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ug#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000001000000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/tenken/schools#Schools"/>  <contentsId xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/schools#">174</contentsId>  <rdfs:label>和白小学校</rdfs:label>  <borough xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/schools#">東</borough>  <ug:postalCode>811-0203</ug:postalCode>  <ug:address>福岡市東区塩浜一丁目6番1号</ug:address>  <geo:lat>33.692754</geo:lat>  <geo:long>130.42075</geo:long>  <ugsrv:tel>092-606-2061</ugsrv:tel>  <ugsrv:url>http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/elwajiro/</ugsrv:url>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/schools#">00001C00000000000024000001000000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-13 警察署データ

http://opendata.elg-front.jp/tenken/police#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ugsrv="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000001200000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/tenken/police#Police"/>  <contentsId xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/police#">1342</contentsId>  <rdfs:label>福岡県東警察署</rdfs:label>  <borough xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/police#">東</borough>  <ugsrv:postalCode>812-0053</ugsrv:postalCode>  <ugsrv:address>福岡市東区箱崎七丁目8番2号</ugsrv:address>  <geo:lat>33.631397</geo:lat>  <geo:long>130.424559</geo:long>  <ugsrv:tel>092-643-0110</ugsrv:tel>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/police#">00001C00000000000024000001200000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1-14 通学路点検結果データ

http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ugsrv="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ugsrv#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ug#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000001100000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#Tenken"/>  <school xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C00000000000024000001000036"/>  <routeTitle xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">市道大名746号線</routeTitle>  <ug:address>中央区大名1丁目12番</ug:address>  <status xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">歩道が狭く、歩行者と車が輻輳し危険</status>  <measures xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">路側帯のカラー化</measures>  <implementationStatus xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">未</implementationStatus>  <implementingBody xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">福岡市</implementingBody>  <geo:lat>33.587704</geo:lat>  <geo:long>130.395066</geo:long>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tenken#">00001C00000000000024000001100000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

2-1 工事実績データ（基本）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003000000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#Jisseki"/>  <pre xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">無し</pre>  <ev:title>美馬牛神楽線交付金（改築）工事</ev:title>  <routeTitle xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">道道美馬牛神楽線</routeTitle>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18acr21ckx1">  <rdf:value>94069500</rdf:value>  <uc:unit>円</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003000000">  <amount xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:nodeID="node18acr21ckx1"/>  <startPeriod xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">20060628</startPeriod>  <endPeriod xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">20061208</endPeriod>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18acr21ckx2">  <rdf:value>5</rdf:value>  <uc:unit>月数</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003000000">  <period xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:nodeID="node18acr21ckx2"/>  <order xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">北海道</order>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">上川支庁旭川土木現業所</civilEngineeringOffice>  <acceptForm xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">経常ＪＶ(継続的なＪＶ)</acceptForm>  <ve xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">VE対象工事ではない</ve>  <iso xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">ISO対象工事ではない</iso>  <contractor xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">■■組・▲▲ＪＶ</contractor>  <constructionPermissoinNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">JV284375</constructionPermissoinNo>  <constructionField xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">道路</constructionField>  <industoryOfConstruction xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">土木一式工事</industoryOfConstruction>  <typeOfConstruction xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">一般土木工事</typeOfConstruction>  <kind1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">歩行者系の舗装、路盤路床工事</kind1>  <kind3 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">水路・管路工事</kind3>  <kind4 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">法面工事</kind4>  <method1 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">路盤路床工</method1>  <method3 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">水路・管路工</method3>  <method4 xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">法面工</method4>  <startAddress xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">北海道上川郡美瑛町</startAddress>  <did xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">その他の地域</did>  <nightWork xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">夜間工事無し</nightWork>  <control xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">交通規制有り</control>  <roadCategory xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">都道府県道</roadCategory>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18acr21ckx3">  <rdf:value>5,000未満</rdf:value>  <uc:unit>台/日</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003000000">  <traffic xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:nodeID="node18acr21ckx3"/>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18acr21ckx4">  <rdf:value>1</rdf:value>  <uc:unit>車線</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003000000">  <regulationLane xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#" rdf:nodeID="node18acr21ckx4"/>  <securingOfTraffic xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">片側交互通行</securingOfTraffic>  <neighboringConstruction xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">近接施工無し</neighboringConstruction>  <geo:lat>43.5857611</geo:lat>  <geo:long>142.4707861</geo:long>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/jisseki#">00001C00000000000024000003000000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

2-2 工事実績データ（業者）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003100000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#Gyosya"/>  <constructionUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C0000000000002400000300D0B8"/>  <entryNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#">1</entryNo>  <manager xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#">○</manager>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:nodeID="node18biear1sx1">  <rdf:value>100</rdf:value>  <uc:unit>%</uc:unit>  </rdf:Description>  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003100000">  <rate xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#" rdf:nodeID="node18biear1sx1"/>  <contractor xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#">株式会社■■工務店</contractor>  <constructionPermissoinNo xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#">00000001</constructionPermissoinNo>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gyosya#">00001C00000000000024000003100000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

2-3 工事実績データ（技術）

http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"  xmlns:uc="http://uidcenter.org/ucr/vocab/uc#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000003200001">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#Gijutsu"/>  <constructionUri xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#" rdf:resource="urn:ucode:\_00001C0000000000002400000300F3B7"/>  <methodSeq xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">1</methodSeq>  <methodName xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">その他土木一式工</methodName>  <itemSeq xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">1</itemSeq>  <itemName xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">種別</itemName>  <rdf:value>1</rdf:value>  <itemDescription xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">道路改良</itemDescription>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/gijutsu#">00001C00000000000024000003200001</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

3-1 苦情・問い合わせデータ

http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#"  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:ug="http://uidcenter.org/vocab/ucr/ug#"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="urn:ucode:\_00001C00000000000024000002A00000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#Report"/>  <reportId xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">8900000004555</reportId>  <ev:startOwner>九地整「道の相談室」</ev:startOwner>  <ev:startDate rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#dateTime">2011-04-04T07:25:00.000+09:00</ev:startDate>  <contactMeans xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">緊急ダイヤル</contactMeans>  <routeTitle xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">県道１７号</routeTitle>  <ug:address>佐賀県基山町小倉</ug:address>  <target xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">福岡向き車線で城戸出口の５ｍ鳥栖寄り、第２車線</target>  <geo:lat>33.4277789</geo:lat>  <geo:long>130.5277419</geo:long>  <ev:type>発見・通報</ev:type>  <ev:target>落下物・清掃</ev:target>  <ev:description>動物（種類不明）の死骸があった。</ev:description>  <ev:endOwner>鳥栖土木事務所</ev:endOwner>  <ev:comment>9:40完了</ev:comment>  <ev:endDate rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#date">2011-04-04+09:00</ev:endDate>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">00001C00000000000024000002A00000</ucode>  <civilEngineeringOffice xmlns="http://opendata.elg-front.jp/marketing/report#">鳥栖土木事務所</civilEngineeringOffice>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

4-1 ツイートデータ

http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#

|  |
| --- |
| <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  <rdf:RDF  xmlns:ev="http://uidcenter.org/vocab/ucr/event#"  xmlns:geo="http://www.w3.org/2003/01/geo/wgs84\_pos#"  xmlns:foaf="http://xmlns.com/foaf/0.1/"  xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#">  <rdf:Description rdf:about="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#00001C00000000000024000001400000">  <rdf:type rdf:resource="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#Tweets"/>  <tweetId xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#">250075927172759000</tweetId>  <ev:date rdf:datatype="http://www.w3.org/2001/XMLSchema#dateTime">2013-10-10T08:30:00+09:00</ev:date>  <ev:description>道路が陥没してます。</ev:description>  <foaf:depiction>file.jpeg</foaf:depiction>  <geo:lat>33.571963</geo:lat>  <geo:long>130.340799</geo:long>  <ucode xmlns="http://opendata.elg-front.jp/tenken/tweets#">00001C00000000000024000001400000</ucode>  </rdf:Description>  </rdf:RDF> |

1. Apache：Apache HTTP Serverの略。Apacheソフトウェア財団が開発したWebサーバソフトウェア。 [↑](#footnote-ref-1)
2. Intersatage Application Server：Fujitsu製のアプリケーションサーバ。Java EE等の標準技術に対応。 [↑](#footnote-ref-2)
3. OpenLink Virtuoso：複数のデータ形式を統合して扱えるクロス プラットフォーム サーバ。RDF Triple Storeとしても使え、SPARQLによる検索に対応。 [↑](#footnote-ref-3)
4. Java EE：Javaのエンタープライズ機能セット。 [↑](#footnote-ref-4)
5. Red Hat Enterprise Linux：Red Hat社によって開発、販売されている業務向けのLinuxディストリビューション [↑](#footnote-ref-5)
6. vSphere ESXi：VMwareによって開発、販売されている、コンピュータ仮想化のためのハイパーバイザーソフトウェア。 [↑](#footnote-ref-6)
7. RDF/XML：RDFをXML形式で記述する構文。W3Cにより「RDF/XML Syntax Specification (Revised) W3C Recommendation 10 February 2004」として仕様が公開されている。 [↑](#footnote-ref-7)
8. T-Engine Forum：ユビキタス・コンピューティングの実現を目指して、坂村健氏が提唱する汎用状況識別基盤とリアルタイム組込みシステムの開発効率向上のための標準化を進める国際的なNPO [↑](#footnote-ref-8)
9. jQuery：ウェブブラウザ用のJavaScriptコードをより容易に記述できるようにするために設計された軽量なJavaScriptライブラリ [↑](#footnote-ref-9)